

2023年度「上智大学短期大学部奨学金」／「日本学生支援機構奨学金」

定期採用募集案内

標記の奨学金の募集説明会を同時に行います。

1. 対象奨学金

- ①上智大学短期大学部修学奨励奨学金
(同窓会奨学金、ソフィアキャンパスサポート父子母子家庭支援奨学金を含む)
- ②日本学生支援機構給付奨学金(高等教育の修学支援新制度 授業料及び入学金の減免を含む)
- ③日本学生支援機構貸与奨学金(第一種奨学金、第二種奨学金)

※上智大学短期大学部「大規模災害等による学生納付金減免及び被災学生支援金給付」に関しては、年度中隨時申請を受け付けております。詳細は、添付資料を参照ください。

※上智大学短期大学部利子補給奨学金は、毎年12月にLoyola掲示板にて募集します。

2. 募集説明会日時・場所

4月7日(金) 14:40～15:40 Zoom

注)Zoom情報はLoyola掲示板に掲出いたします

◆出願書類の配布について

必要書類等についての説明を行います。説明会に出席し、4月10日(月)～14日(金)の期間にLoyolaアンケートで希望の奨学金資料を申し込むことにより、奨学金の応募がエントリーされます。説明会に欠席すると応募できませんので、奨学金を希望する方は必ずご参加ください。

※日本学生支援機構奨学金(給付・貸与)について、高校時に予約採用が決定された方(採用候補者)を対象に以下のとおり別途説明会を行いますので、該当者は別紙「日本学生支援機構奨学金採用候補者の皆さんへ」を参考の上、必ず出席してください。

4月1日(土) 13:30～14:00 4号館1階大教室

3. 出願期間

【日本学生支援機構奨学金】

2023年 4月19日(水)～4月21日(金) 9:30～11:30、12:30～16:30

【上智大学短期大学部奨学金】

2023年 5月8日(月)～5月10日(水) 9:30～11:30、12:30～16:30

4. 出願場所

3号館2階 短期大学部事務センター 奨学金担当

5. 出願にあたっての留意事項

※出願期間の締切日に遅れた書類は受理できません。不備の無いように準備してください。

※出願にあたっては、4頁にある学力基準・家計基準を確認の上、ご応募ください。

※願書は出願する学生本人が記入し、面接でも学生本人から説明して頂きますので、予め家計の状況を把握しておいてください。

※日本学生支援機構奨学金の出願は、書類提出以外に Web 上での入力・送信が必要です。書類を提出した方から、Web による奨学金申込(スカラネット)用のパスワードを渡します。書類と入力が確定したデータが揃って正式な受理となるためご留意ください。

入力に際しては下記の情報が必要となります。

1.ご両親の年収の情報が必要です。予めご両親に 2022年の年収を確認してください。

2.学生本人名義の銀行口座情報も必要です。

取扱金融機関： 国内の普通銀行(都市銀行・地方銀行・第二地方銀行)・ゆうちょ銀行
信用金庫・信用組合・労働金庫の本支店

※信託銀行・新生銀行・あおぞら銀行・農協・外資系銀行ネット銀行・コンビニ銀行は取り扱いません。貯蓄預金口座は使用できません。

※ゆうちょ銀行の場合は、振込用の店名・預金種目・口座番号を必ず確認しておいてください。

6. 出願までの流れ

上智大学短期大学部奨学金の場合		日本学生支援機構奨学金の場合	
5月上旬	出願書類の提出	4月中旬	出願書類の提出
			
5月中旬	書類選考結果及び 面接日時発表	4月末	スカラネット Web 入力及び マイナンバー提出書の送付
			
5月中旬～下旬	面接選考	5月下旬	書類審査を経て、大学から 日本学生支援機構へ推薦
			
6月上旬	採用決定	6月中旬	日本学生支援機構で収入審査後、 採否決定し、奨学金振込開始

上智大学短期大学部奨学金について

上智大学短期大学部修学奨励奨学金は、学業成績が良好である又は学習意欲が高いにもかかわらず経済的理由により学業の継続が困難な者に、学資金の一部を給付することによって学業に専念できる環境を作ることを目的としている原則返金不要の奨学金です。

また、この出願をもって、上智大学短期大学部修学奨励奨学金と同時に、これと主旨を同じくする篤志家奨学金(同窓会新入生奨学金・同窓会 2 年次生奨学金・同窓会学業奨励賞、父子母子家庭支援奨学金)の採用対象者を選考します。

1. 出願対象者

- a. 人物及び学業成績が良好である又は学習意欲が高いこと。

- b. 経済的理由により学業の継続が困難であること。
- c. 今年度の上智大学短期大学部新入生奨学金および創立40周年記念特待生奨学金(入試時実施分)に採用されていないこと。

注)学力基準と家計基準が設けられており、4 頁の基準を参考の上、ご応募ください。

2. 納付額

<修学奨励奨学金>学生生活・進路指導専門委員会にて選考し、学長が決定します。

- a. 授業料全額相当額
- b. 授業料半額相当額
- c. 授業料3分の1相当額

<参考>2022年度 採用数:14名

<同窓会奨学金>修学奨励奨学金応募者の中から選考し、学長が決定します。

- a. 同窓会新入生奨学金 30 万円(1名)
- b. 同窓会2年次生奨学金 30 万円(1名)
- c. 同窓会学業奨励賞 5 万円(6名)

※同窓会奨学金については後日開催される授与式に必ず参加が必要です。

<父子母子家庭支援奨学金>修学奨励奨学金応募者の中から父子母子家庭の子女を対象に選考し、学長が決定します。2022 年度は、3 名の学生に 20 万円ずつ給付しました。

日本学生支援機構奨学金について

2020 年度より導入された「国による高等教育の修学支援新制度」について、本学は対象校に認定されています。支援内容は、卒業まで月単位で給付される給付奨学金と、授業料・入学会員の減免の支援がセットとなり、日本学生支援機構給付奨学金に出願した方に、授業料・入学会員の減免申請についてご案内いたします。いずれも世帯の所得金額に応じて対象区分が三つに分かれ、それぞれ支給額が異なっています。在学時での申し込みは、4 月と 10 月の年2回あります。詳細は以下のホームページを参考の上、必ず「進学資金シミュレーター」で収入基準に該当するか確認ください。

文部科学省「高等教育の修学支援新制度」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

日本学生支援機構「奨学金の制度(給付型)」

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyuufu/index.html>

日本学生支援機構「進学資金シミュレーター」

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

また、日本学生支援機構貸与奨学金は、卒業までの月単位で貸与され、卒業後返還が必要な奨学金制度です。返還無利子の「第一種」と返還有利子の「第二種」があり、併用貸与も申込ができます。1年生のみ入学時特別増額貸与奨学金(有利子)を合わせて申し込むことができます。なお、「地方創生枠推薦者」として決定している方は、優先的に第一種奨学生として推薦されますので、出願時に「地方創生枠推薦者決定通知」を提出してください。学力基準と家計基準が設けられており、4 頁の基準を参考の上、詳細は以下のホームページを確認ください。

<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

※日本学生支援機構奨学金については、マイナンバーを直接日本学生支援機構へ提出することにより、日本学生支援機構で家計基準が審査されます。

学力基準： 注) 国による高等教育の修学支援新制度を除く

<p>日本学生支援機構 第一種奨学金</p>	<p>【1年次】 (1) 高等学校最終2か年又は専修学校高等課程最終2か年の成績が3.5以上 (2) 高等学校卒業程度認定試験合格者で、上記(1)に準ずると在学学校長から認められる者 【2年次】 本学における学業成績が上位1／3以内の者 ただし、家計支持者が住民税非課税である者や、生活保護受給世帯の者、社会的養護を必要とする者で、次のアまたはイのいずれかに該当する者は学力基準を満たす者として取り扱うことができる ア. 特定の分野において、特に優れた資質能力を有し、特に優れた学習成績を修める見込みがあること イ. 学修に意欲があり、特に優れた学習成績を修める見込みがあること </p>
<p>日本学生支援機構 第二種奨学金</p>	(1) 出身学校又は本学における学業成績が平均水準以上と認められる者 (2) 特定の分野において特に優れた資質能力を有すると認められる者 (3) 本学における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者 (4) 高等学校卒業程度認定試験合格者で、上記のいずれかに準ずると認められる者
<p>日本学生支援機構 第一種・第二種併用</p>	日本学生支援機構 第一種奨学金と同じ
<p>「上智大学短期大学部 修学奨励奨学金」</p>	(1) 学業成績が良好である場合は、第一種奨学金と同じ学力基準である (2) 学習意欲が高い場合は、授業への出席状況等を踏まえ、面接選考で判断する

家計基準：家計の基準額は、およそ次の金額以内です。ただし、大規模災害で罹災された方で、「上智大学短期大学部修学奨励奨学金」と「大規模災害等による学生納付金減免及び被災学生支援金給付」を出願される方はこの基準の限りではありません。

＜4人世帯の収入・所得の上限額の目安＞

注)2022年度の基準額です

		給与所得者	給与所得以外
日本学生支援機構 第一種奨学金	自宅	784万円	376万円
	自宅外	831万円	423万円
日本学生支援機構 第二種奨学金	自宅	1,127万円	719万円
	自宅外	1,174万円	766万円
日本学生支援機構 第一種・第二種併用	自宅	725万円	333万円
	自宅外	788万円	380万円
上智大学短期大学部 修学奨励奨学金		700万円	350万円

給与所得者 … 源泉徴収票の支払金額(税込み)

給与所得以外…確定申告書等の所得金額(税込み)

注)日本学生支援機構第一種奨学金を希望される方のうち、貸与金額が最高月額を選択される場合、別途収入・所得の上限額が設定されています。